1965
9月号
No.142
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

9月の人口と世帯

人口 7.563(＋1)
男 3.753(＋2)
女 3.810(－1)
世帯数1.233(＋2)

阿武隈山系の開発を促進

"全郡一致して期成同盟会発足"

立ちおくれている阿武隈山系南部地域の開発を促進せよと、東白川全郡にみなぎる要望を背景に阿武隈開発期成同盟会設立総会は、九月九日青生野小学校體地集会室で開かれました。

この日は矢祭、塙、棚倉、古殿、鮫川の各町村長、議会議員、産業課長、議会事務局長の全員が参加し、県からは観光課長、大平林産課主任技師、県事務所長、土木、林業事務所長。棚倉、石川営林署長等も出席され、殊に光彩を放つたのは国会議員八田貞義渋谷直蔵、湊徹郎の諸先生が臨席されたことで、郡としては曾つてない盛会となりました。

会は準備委員を代表した石田村長のあいさつに続いて国会議員御三名からそれぞれ力強い激励と今後の努力を誓われる祝辞が述べられました。

議事は鮫川村長を議長に、矢祭、塙、棚倉、古殿町長を副議長にして進められ、規約重点事業等を定め、役員を選任しましたが、重点事業として阿武隈山系南部地域を縦貫する開発幹線道路の開設を促進することに決しました。

この縦貫路線を開くことにより地域の経済、文化の振興を図り、林産資源の開発、畜産業の振興、観光の開発を促進し、地域住民の福祉を高めようとするもので、調査、計画陳情、請願等ただちに実行運動にとりかかることに決議されました。

役員には会長＝石田鮫川村長、副会長…宗田棚倉町長、金沢塙町長、古張矢祭町長、根本古殿町長。

理事＝棚倉町…藤田芳之助 鈴木芳太郎、片野幸喜、高橋重吉、塙町…下重政雄、星義忠金沢正、鈴木正男、矢祭町…菊池恭太郎、豊田孝行、古市覚、金沢三善雄、古殿町…水野義一、水野艶信、小浜亀義国生伯芳、鮫川村…芳賀悟朗藤田佐一郎、大竹茂、藤田卓三。

監事金沢利敏、青砥惣、佐藤武男、矢内栄次、船木操の各氏を選びました。

上は設立総会に参加した郡内各町村の議会議員。下は縦貫道路を説明する石田村長。



青生野の構造改善事業業について石田村長の説明をきく木村知事。沢田県議、菅波県議、小宅田人村長の顔も見えます。この日郡境近い集団桑園に両郡の関係者約100名参集しました。

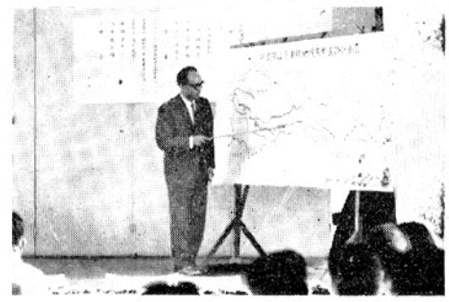


阿武隈開発期成同盟会の設立総会に、3名の国会議員がお出になり光彩を添えられました。前列向つて右から八田貞義先生、渋谷直蔵先生、湊徹郎先生後列は郡内町村長で構成した議長団です。

村の国勢調査員

五年に一度の国勢調査が今年の十月一日に行われます。この調査の重要性、調査事項調査のしくみ、集計方法、結果の利用等については前号でお知らせしたとおりですが、この調査員として次の方々が任命され、調査にあたることになりました。





この調査は、国、県、村の政治、行政に欠くことの出来ない重要なる資料となり、又日常生活に直接役立つ資料となります。

調査の重要性を十分御理解のうえ、次の調査員の方が訪門の際は、ありのままに御協力をお願いいたします。

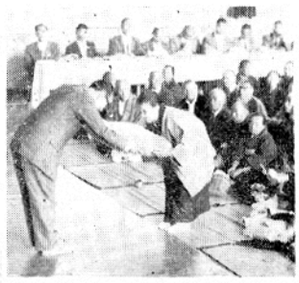
カツコ内は主な調査区域

本郷栄治（追木、大平、余所内）大竹勇（菅野目、水口、田中、赤柴、戸倉）鈴木輝男（大久保、落合、馬場）根本伝（宝木、折戸、岩野草）阿久津国市（滑石、浅屋敷、萩野沢）矢吹一二（滝、虹ケ沢塩倉）舟木仁（岨長、火打石）斉藤近（石の花、寅卯平、蕨平、草牛）須藤金一（酒垂、名下、本坂）水野芳光（薄ケ久保、大塩、官沢）円井利男（滝平、真坂、道少田）金沢省道（新宿、道少田の一部、中野前田）中川西正一（東野前田、石井草、官代）森享（遠ケ竜、中内、大根屋敷）鈴木孝雄（伊柳沢、大石草）三瓶正司（戸草）蛭田武夫（滝の下、蕨の草、大竹）宗田貞治（広畜、芦野草、内ケ竜）青戸孝雄（湯川、前沼、彦次郎）石井清重郎（中沢）松本源一（二反田、反田）松本好雄（鍬木田、大清水）蛭田喜代次（田尻、福原）藤田一朗（関下、関口）国井善郎（越虫）長井久男（姿平、世々麦）鈴木清司（丸谷地、青生野）蛭田栄欠（中山、木之根、中野町）芳賀国夫（江竜田、西野沢）

（庶務課）

いつまでもお元気で

本年の敬老会は九月十二日に鮫中体育館で三百六十名の高令者を招待して開かれました。九十才以上の四名（西山…阿久津ナカ、中野…円井マツ、東野…森ツメ、青生野…新妻滅久）の方には県より年金、村より座椅子が贈られ、八十才以上の方にも記念の座ぶとんが村より贈られ、東京より招んだ芸能人や婦人会員の演芸に楽しい一日を送りました。



木村知事の郡内町村訪問

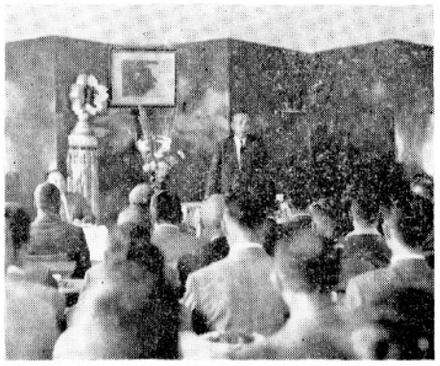
構造改善で組合員を激励

本県知事木村守江氏は国会議員当時、幾度か本村にお出になり、渡瀬黒田線の開発については特に御尽力を願い、現在の基礎を作っていただいたわけですが、知事就任後は今度が初めての訪問でした。

九月十日は午前中西白河の雹害を視察されて棚倉に来られ県事務所で町村長県出先機関の所長等にあいさつ、昼食を共にした後、石田町村会長から郡勢振興に関する重点事項についての陳情をうけられました。午後棚倉町を経て鮫川村役場を訪問。会議室で村内の議員、区長、各委員、婦人、青年の代表者と懇談、参会者の素朴な希望や意見などをきかれ親切な答弁がありました。それから村長の案内で鎌田棚倉線の改修要望箇所、西山の県道編入要望線彦次郎橋を視察、渡瀬の草地造成、塙線改修要望箇所を視ながら塙、矢祭に向われ、矢祭ホテルに一泊。

十一日は矢祭、塙の視察を了え、渡瀬から主要地方道勿来、棚倉線の視察に入り、青生野養蚕協業組合の集団桑園に立つて、国有林解放の状況や、農業構造改善事業の進捗状況を視察。集つた組合員に「事業ができるまでは容易でないだろうが、完成するまで頑張つて、しつかりやつて下さい」と激励。バスを早く通すようにという渡瀬、青生野区長、地元土手内議員等の陳情に対しては、「道路をよくすることが先決」と、道路改良の意欲的な発言がありました。

ここで石城郡から迎えに来た沢田源次、菅波茂の両県議小宅田人村長、緑川芳文氏等数十名の人たちと共に、田人村に向われ、その日の夜おそく福島まで帰られました。



住民のナマの声にこたえる知事



われ等の知事をかこむ地元の人々

推進員の研修

農業改良推進員と生活改良推進員三七名が、九月六日と七日、山梨県内の高冷地農業を視察しました。

標高八四〇m、年平均気温も本村と同じ位の地域にある河口湖町役場で、農業構造改善事業（基幹作目はそ菜とこんにやく）の説明を聞き、同町船津地区の抑制キヤベツ及びレタス、人参の栽培、畑地灌水施設（水路延長八千m）などを見学し、翌日は同町大石地区のこんにやく栽培状況の見学及び大石農協においてこんにやくの販売事業の設明を聞き予定した研修を終りました。

（産業課）

荒粉で五百貫の収穫

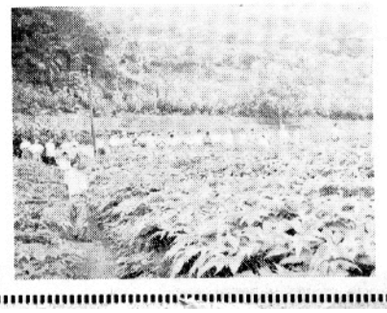
こんにやく主産地で研修

福島県農業試験場塙こんにやく試験地の主催で、私達こんにやく講習生の一行は、八月二十日、二十一日の二日間に亘つて、こんにやく主産地の群馬県金島試験場と、下仁田地方を研修視察してきました。第一日目は金島試験場と下仁田地方を見て、下仁田に一泊しました。

第二日目、起床六時、朝食前に主産地南牧村視察のためバスに乗る。標高四〇〇米、地形は斜面にて段々畠は皆石積をして畠を造つてをり、田は全然ない。主としてこんにやくと、山林によつて生活をして居るところです。こんにやくの種類は在来種は少なく大方支那系である。不思議に思つて場長さんに聞えてみましたら、「在来種は病気に弱く、支那系は非常に強い、それに南牧村は非常に気温が高く、日焼が多くでるので支那系を普及して居る。」ということでした。又収量、販売面に於ても在来種と同様であるとも語つていた。土地は全般的に小砂利です。

年間収益が三百万円

南牧村最高の個人作付面積一町八反の田会さんと云う研究会長で、妻と年雇一人で一切の経営をしている。年間収益三百万円、生玉販売五〇〇俵には皆驚きました。朝食後細牧村に行く、此処は多少の田があり、部落の或る一戸を尋ねてみました。二十戸ばかりの部落研究会長の話では、部落一人平均作付面積は七反歩位であるという。秋の収穫は荒粉で五百貫位というのには再び驚かされました。こんにやく畑を見せて載きましたところ、一個一貫匁玉はザラで、此の様なこんにやくを作らなければ、こんにやく生産者とはいわれないとの場長さんの言葉でした。又群馬県として、人間に連作障害がかゝつているので、現在の作付面積を減らさず年間収量も減少しない対策が頭痛の種であると試験場長さんが語つていました。下仁田出発午前十時、一同元気で午後七時帰村致しました。



群馬県の主産地と我が村を比較して、我が村のこんにやく作りはこれからであるという感がしました。今後わが村のこんにやく生産地形成のため、私達こんにやく講習生は作付面積を増反し、村の模範的なこんにやく生産に努力する考えです。

（こんにやく講習生会長　蛭田　覚）

おらの村み㉖

阿武隈の開発は道路から

村長　石田卯子八

この間、ジープの走り歩きではあつたが、阿武隈山系南部地域の高いところを通つて視る機会を得ました

この地域が県下一の未開発地帯であるということは既にいいふらされていますが、今度通つてみて、いよいよその感を深くした次第です。

先づ矢祭町の馬渡戸、追分、高野谷地から、塙の千泥、片貝、高柴を経て、村内青生野に入り、戸草、大石草、遠ケ竜、石井草を通つて、古殿町竹貫に下り、山上、犬仏、柴山から、石城郡三和村の上三坂を望むコースをとりました。

この地域には、未だに教員が二人きり居ない小学校がいくつかあり、冬期間教員が一人づつ本校から毎日交替で通つてくるという、中学校の分室もあります。

電灯のない農家が残つており、側溝のない二m巾員の県道はザラにあります。

国道、主要県道の舗装が進んでいるすぐ裏側に、荷馬車時代の道路がそのままの姿で存在し、ラジオもテレビも入らない無電農家が残つているわけです。まさに近代と前近代が表裏になつており、文化と非文化が雑居している感じです。しかもこの地域は高いといつても標高は六〇〇mか七〇〇mで、山の起伏がなだらかで、昔の人が布引き山と名づけた平坦な山容で占められています。

秋草乱れ咲く牧野適地は至る所にあり、ブルを入れれば山頂まで耕地化される所が多く、低所得に悩むこの地域の人々のために慨嘆しないではいられない感じでした。

しかも低温泉群の分布は全地域にわたり、訪れる人も少いままに放置されています。

もしこの地域に一本の幹線道路が開かれるならば、一挙に地域の開発を促進し、この未開発地域の産業、文化は一躍して陽の目を見ることになり、地域住民の福祉を高めることになるのではないかと考えたのであります。

雪に埋れて半年以上も使用できない土地に、数億の金をかけて観光ルートを用いている国や県の政治が、明日からでも経済効果の上る、しかも一年中使える阿武隈の開発路線が開けないわけはない——と考えながら、初秋の夕陽をあびながら、古殿の柴山を下りました。

議会だより

第九回鮫川村議会臨時会

去る八月二十七日、第九回議会臨時会が招集されました。第九回議会臨時会は、昭和三十九年度特別会計決算認定と昭和四十年度一般会計の補正予算が上程されました。

臨時会の結果は次のとおり。

(1)会議録署名議員の指名（十番星、十一番船木）

(2)会期の決定

(3)例月出納検査の結果報告

(4)議案第三十五号、昭和四十年度鮫川村一般会計補正予算

今回の補正は主として去る六月三十日の集中ごう雨で被害を受けた、青生野の開拓道の農道橋の災害復旧費と農地報償事務取扱費等の補正であり原案どおり可決されました。

議案第三十四号、昭和三十九年度鮫川村歳入出決算認定について（特別会計）

特別会計の決算現計は次のとおりであります。

イ事業勘定（国保）

歳入総額

一七、八三九、三二八円

歳出総額

一七、四一四、一八二円

差引残額四二五、一四六円

残額四二五、一四六円は国民健康保険給付費支払準備基金に全額繰入れされます。

ロ直診勘定（診療所）

歳入総額

九、六六八、三三六円

歳出総額

八、〇六二、三二六円

差引残額

一、六〇六、〇一〇円

残額一、六〇六、〇一〇円は全額四十年度に偏入（繰越）されます。

この特別会計の決算は審議のうえ認定されました。（議会事務局）

林業のグループ研究

県下一の表彰

林業部門集団営農県下一として、西山摺合林業研究会（会長鈴木森正）が県知事より表彰されました。表彰式は九月八日県農業試験場農試まつりの席上行われ全会員が出席しました。

この研究会は十六名の会員で、毎月の定例研究会をもち、杉苗の生産や造林撫育を共同で行い、また試験林等も設けて、その団体活動が優秀と認められ今回の表彰を受けました。



（写真は表彰旗と会長の鈴木森正さん）

青年体育ブック大会

八月二十日に村民運動場で開かれ、各分対抗で各種競技が行なわれたが総合で西山分会が優勝しました。各種目の一位入償者は次のとおりです。

男子百米（生田目定之助）四百米（加藤健二）千五百米（佐川一郎）五千米（佐川伸一）走高跳（青戸代吉）走巾跳（大森光枝）三段跳（青戸代吉）砲丸投（生田目定之助）すもう（芳賀芳夫）

女子百米（松崎イネ子）六十米（我妻玲子）走高跳（我妻玲子）走巾跳（岡部未子）砲丸投（生田目アキ子）

スエーデンリレー

（①富田分会、②東石分会③青生野分会）

新鮫川風土記 ①

自然

中井恒雄

土地の人々は、我が鮫川ほど住みよい自然はないという。春はわりと早くやつて来て、山菜の季節になると生き生きとした人々の活躍がはじまる。

山吹の真黄色な花が散つて若葉の山にアクセントをつける頃になるともう初夏である子供たちの川遊びの声が、清流の鮫川本流のあちこちで聞え出し、東京から親せきの子供が、夏休みの林間学校にやつて来るのもこの頃である。

せみがなき、野鳥は歌う。



郷里を離れた人々が、木影に大の字になつて昼寝をしたいと思わずにはいられないこの自然、思うだけで自然の良さがうかがわれる。

稔の秋、銀世界の冬は東北の季節を代表しているかのようだ。

南国の浜にも近く、雪国の会津にも隣接しているようなこの自然は、土地の人々が住みよいと思う通りそのものずばりなのである。

最近になつて、鮫川の自然を観賞するために出掛て来る人も多くなつた。その足ともなる交通網の発達が、鮫川の良さをものがたつている一つでもある。

◎

前号にてお約束しました風土記を掲載いたします。中井君の郷土に寄せる愛情に感謝するとともに読者の皆様方の感想をお願いします。

同君の住所は「福島市春日町五五の七、FTVアパート内」です。

（ね）（ん）（き）（ん）

この機会をのがしたら永久に国民年金がもらいない。

国民年金の老令年金を受ける資格は、原則として60才まで25年以上保険料を納付（または免除）していなければなりませんが、昭和5年4月1日以前に生れた人（制度発足の昭和36年4月1日で31才以上の人）は、その年令に応じて、この25年という受給資格期間は24年から10年まで特例により短縮されています。

ところが、国民年金制度が始まつてから今年の4月で満4年になりますから、たとえば、昭和5年に生れた人は、すでに、いまは35才になり、今後保険料を納めることができる満60才になるまでの期間はあと24年しか残つていませんので、今年の4月分から保険料を納めるか免除を受けていないと、最低の24年の資格期間も満たすことができず、これらの人たちは永久に老令年金を受けることができなくなります。

このように、今年の4月を境にして「国民年金を受けられるか、あるいは国民年金から完全にとりのこされるか」といつたことは、昭和5年4月1日以前に生れた人、全部についていえることですからこの年令の人たちで未加入の人はもちろんのこと保険料の未納になつている人も充分注意が必要です。

（住民課）

（く）（ら）（し）のメモ

健康を守る料理

主食はなるべく量は少くとも型を変えてとり入れる様にしたいものです。単純な麺類等にも出来るだけ脂肪（四〇才すぎては植物油を多く）や蛋白質をとり入れビタミンの不足を補うよう心がけましょう。

◎主食おにぎり（あり合せのごま、梅ちそ、しようが等味をかえて）

◎キャベツ巻きと金花卵。材料　キャベツ、ひき肉、卵、玉ねぎ、パン粉、塩、パセリ

作り方

①キャベツは塩の熱湯を通してしんなりと。

②みじん切りの玉ねぎ、肉を炊め、さめてからパン粉と卵を入れてよくねりあわせる

③キャベツを広げて②を入れ巻いて五～七分むし一口大に切る。

金花卵は卵を十分ゆで皮をむき白味は千切り、黄味は砂糖を入れ乍らうらごしにしてふりかける。

（住民課）

味の正体

味の基本は、甘い、塩からい、にがい、すつぱいの四種類で、これがいろいろ組合わされて複雑な味がでてきているのだそうです。そのうち、すつぱい味は酸であり、塩からい味が塩類であることはわかつているのですが、甘い、にがいがはつきりしないのです。

国保だより

「健康体操」のテキストをさしあげます

台風一過、いよいよ秋の到来です。毎日一生県命お働きの皆さんには、さぞお疲れのことでしよう

そこでお仕事の合い間に五分間を「疲れをなくす健康体操」を行なつて、積極的な疲労回復を図つてみては如何ですか。この健康体操は「だれでもできる体操」と「疲れをなくす体操」と「体をたんれんする体操」の三つよりなつていますが、村では、病苦のない、活動力に満ちた明るい農村の実現を目ざして、その中の一つ「疲れをなくす体操」のテキストを作りました。どなたでも住民課国保係に御一報くだされば役場から無償でさしあげます。

（住民課）

たばこは村内の小売店で買いましよう

村内のたばこ小売店で買つたたばこ代金の一部がたばこ消費税として村の大きな財源となつております。

告知版

西山チームが初優勝

村野球連盟主催による本年度第一回の社会人野球大会は九月四、五日の二日間にわたり村民運動場で六チームが参加して開かれ、熱戦をくりひろげたが、数回にわたり決勝戦で涙をのんでいた西山チームが念願の初優勝をとげました。

対戦成績は次のとおり。

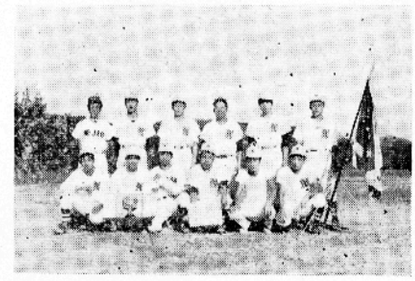
一回戦

渡瀬　2――5X　東石
西野　0――1X　役場
東石　0――8X　中野

二回戦

役場　0――3X　西山
鮫高　3――1　中野

決勝戦

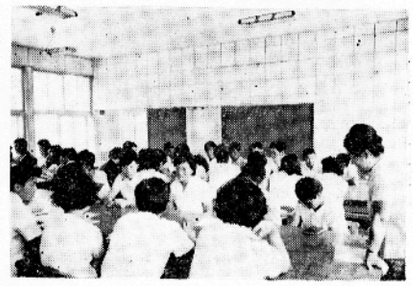


西山　4――3　鮫高
優勝の西山ナイン

熱心な学級生

在村青年の減少が憂えられ青年学級（産業青年研修講座）の開講も危ぶまれましたが本年は三十六名の申込者で四月に開講、その後に希望者が増えて現在では四十名を越し出席率も七〇％以上と良好です。

女子十九名は郡の花嫁教室に参加していますし、郡内学級生の交換会では二十三名が磐梯登山に参加し、青生野の構造改善地区を視察するなど活発な活動を続けています。



九月一日青年研修所で開かれた花嫁教室の話し合い風景

十五人なら安くなるはなし

「一ダースなら安くなる」という言葉がありますが、簡易保険では十五人なら安くなります。

つまり、婦人会などの地域団体や、職場などで、十五人以上で、簡易保険に団体加入され、代表者が保険料をとりまとめて払いこまれると、月額保険料の七分が割引きされます。

さらに、この団体保険料を三ケ月分前払いすると、割引きは八分、六ケ月分では一割と多くなります。

この割引額には代表者のとりまとめ手数料二分が含まれていますが、現在組織している団体（全国で十六万団体）の多くでは、割引額の使い方をみんなで相談してきめています。

たとえば、婦人会では生活改善や料理、生花、美容、家族計画などの講習会、慰安旅行子供会の援助などに、P・T・Aでは学校教材の寄附に、官公庁などの職場ではレクリエーション用具の購入や慰安旅行などにあてて、団体相互の結びつけを深め、ひいては地域社会の発展にも役立つております。

当村でもこの払込みをされている団体は三十以上に及んでおります。なおくわしいことは郵便局にお尋ね下さい。

郵便貯金のおいたち



鮫川郵便局提供

◉郵便貯金の誕生

一八六〇年、世界最初の郵便貯金がイギリスに誕生しました。

時の首相グラット・ストーンは、晩年しみじみとこういっています。「五〇年にわたる私の政治生活のうち、郵便貯金制度の創設ほど、国家国民のためになつたものはない」と。

◉それから十五年

一八七五年（明治八年）、わが国でも先覚者、前島密によつて郵便貯金がはじめられました。世界で三番目でした。

◉みなさまの郵便貯金は二兆二千億円（四〇、三月現在）

昭和三十九年十月郵便貯金は二兆円を突破、昭和四十年三月には二兆二千億円をこえました。

これは実に、千円札で富士山の五五・三倍、地球を九回りと、おどろくべきたくさんの金額となる訳です。

10月2日に体育祭

恒例の村民体育祭はウラ祭の二日午前九時より村民運動場で開かれます。今年は学童の参加もあり文化祭行事として行われていた各区対抗駅伝競走も加えられるので、盛会が予想されます。（雨天の場合は別に定めます）賞品はもりたくさん用意してありますので、多数参加して下さい。

郡大会で惜敗

十九日に棚倉町で開かれた郡下選抜野球大会に参加したオール鮫川チームは強豪の棚倉町役場と対戦し、初回の四点の失点にもめげず同点にもちこみ、延長戦に入つたが九回裏に一点を許し七対六で惜敗しました。

明るい歌ごえ

辺地に文化の光をともそうと県教委が本年始めて実施している、へき地文化導入計画のひとつとして福島FMC混声合唱団が、去る八月二十九日に富田小学校を訪れ同校生徒や部落民三百余名に、東北一位全国二位の合唱を公演し同校生徒の歓迎演奏や地元のおばあさん方の盆踊り唄などの披露があり、楽しいひとときをすごしました。



おめでた

八月

三日　本坂　藤田　正義
三日　田中　鈴木　浩二
七日　内ケ竜　蛭田　明美
一二日　道少田　宗田　敦子
一三日　沢尻　松崎　恵子
一六日　本坂　藤田美佐枝
二一日　石ノ花　舟木富士以
三〇日　青生野　笹島　政光

九月

四日　木之下　赤坂　誠
六日　戸草　諸橋マスエ

おくやみ

八月

一八日　大石草　田中祐三郎85
一八日　福原　蛭田　義雄59
二一日　福原　鈴木　カノ56
二六日　寅卯平　舟木乾太郎80
二六日　新宿角田　キワ69
二八日　岩野草　根本　ヨネ83

九月

二日　草牛田子　ケイ75
二日　福原　蛭田ヨシノ71

あとがき

郡と県南の二つの社会教育研究会に出席したが、話題の中心は農業後継者と農家の花嫁問題「なんとかしなければ」との声は多いが、帰するところは政治の責任、いつものことだが前進がみられない。意見は分るが自分たちで努力する道を考えなくては、と痛感させられた。

（鈴木）

テレビ

「只今十一人」をすすめる

毎週木曜日FTV八時から映されるテレビ「只今十一人」は私の大好きな番組であるが、それは四十五分内につまつた家族愛が何とも言い得ないあたたかさを与えてくれるからである。ついせんだつて九月三日、司法試験におちた五女珠子が失望の余り人間をのがれて北陸へゆこうと決心し、上野駅まで出かけたが自分を慰めてくれる群衆の一人もいないことを覚り愕然と我が家に帰る。兄の保は「人はみな一人なんだ、だからこそ家族が必要だし、友人もほしいんだ」と教える。悲しみの珠子に声をかけてくれなかつた家族は、実は珠子への最大の思いやりであつたかと思えば、一人になつていた珠子は「実は私こそ、ことばがほしかつたのだ」と訴える段になると、私は家庭の重要さ兄弟姉妹のはげまし合いの大切なことを痛いまでに感じさせられて思わず画面に引きずりこまれる、山村聡の演ずる父が「人には苦しみがあるがそれを乗りこえるのには自分だけで解決出来ないものもあるさ。ガツカリするなよ」とはげますあたり短かいことばながら人生のつぼを得ている場所が違い、条件を異にしつゝ、明るい家庭の中に、一人一人が個性を充分に生かして進んでゆこうとする早乙女家は、まことに立派である。今時、只今十一人の家族構成は珍らしいし、東京のド真中で、中流以上の生活のこの家と比較すべくもないが、私はこのような番組が世の親に教えるものがなんであるかを考える時、無理強いや、押しつけでなく、ドラマを通して、ほんのりとたちむかつてくる家族的愛情を高く高く評価したいと思う。

私は毎週木曜日の八時がやつてくるのが待ちどおしくてならない。親も息子も娘も嫁も姑もみんなで見合える番組でもあるために……。

西野小学校長　古川一郎